

赤ちゃんの からだBOOK



東京女子医科大学
乳児発達行動学教授

小西行郎

さいたま市心身障害
総合センターひまわり学園
所長・小児神経科医師

小西 薫

本文イラスト
齊藤 恵

小西 行郎 (こにし ゆくお)

東京女子医科大学・乳児行動発達学講座特任教授。
日本赤ちゃん学会理事長。
1948年香川県生まれ。京都大学医学部卒業後、同
大学付属病院未熟児センター助手となる。1983年
より、福井医科大学小児科講師、1988年同大学教
授となる。1989年より、文部省在外研究員として
オランダ、フローニングデン大学にて発達行動学を
学ぶ。1999年、埼玉医科大学小児科教授に就任。
2001年、現在の東京女子医科大学・乳児行動発達
学講座を開設する。主な著書に『これで安心、0
歳からの育児』(法研)、『赤ちゃんと脳科学』(集
英社新書)、『知っておきたい子育てのウソ・ホン
ト50』(海竜社)、『乳児保育の基本』共著(フレー
ベル館)ほか多数。

小西 薫 (こにし かおる)

1948年京都市生まれ。大阪医科大学卒業後、京大
小児科学教室入局。1984年から18年間福井総合病
院で小児神経科医として勤務。2002年からさいた
ま市心身障害総合センターひまわり学園にて障害
児医療、療育に携わり、2006年より所長に就任。
三男一女の母。著書に『乳児保育の基本』共著
(フレーベル館)など。

赤ちゃんのからだBOOK

2008年3月11日 第一刷発行

編集協力／(株)ゼビロス・三枝 節子

本文イラスト／齊藤 恵

装丁／こやまたかこ

カバーイラスト／谷口シロウ

本文デザイン／諫山圭子

著者 小西 行郎 小西 薫

発行者 下村 のぶ子

発行所 株式会社 海竜社

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-26

電話 03-3542-9671 (代表)

FAX 03-3541-5484

郵便振替口座 00110-9-444886

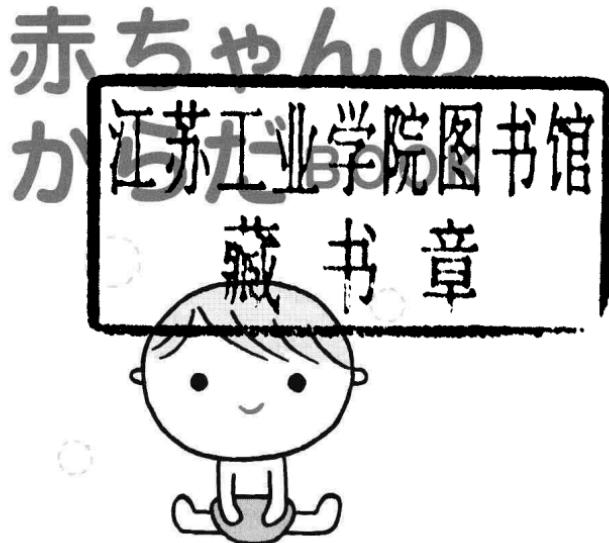
ホームページ <http://www.kairyusha.co.jp/>

印刷・製本所 シナノ

落丁本・乱丁本はおとりかえします

©2008,Yukuo Konishi/Kaoru Konishi, Printed in Japan

ISBN978-4-7593-1011-5



赤ちゃんの
からだBOOK

江苏工业学院图书馆

藏书章

東京女子医科大学
乳児発達行動学教授

小西行郎

さいたま市心身障害
総合センターひまわり学園
所長・小児神経科医師

小西 薫

本文イラスト

齊藤 恵

海竜社

はじめに

「赤ちゃんのしぐさBOOK」、「赤ちゃんの遊びBOOK」と続き、今回は「赤ちゃんのからだBOOK」です。「赤ちゃんのからだ……」と考えると、仕事がはどうしても病気のことが浮かんできます。でも、赤ちゃんのからだを巡る話題は病気のことばかりではありません。

からだは、まだ言葉を使わない赤ちゃんを理解するための大切な媒体です。赤ちゃんのからだの不思議さやおもしろさを知っていれば、成長していく赤ちゃんを見る楽しさも、より大きくなるのではないかと思っています。

生まれたばかりの赤ちゃんの頭頂にある「大泉門」^{おおいずりもん}が開いているにはそれなりのわけがあるし、「おへそ」といえどもなかなかあなどれない存在なのです。こうした話題を楽しんでいただきながら、チェックすべきポイントも盛り込んであります。

今まで、赤ちゃんのからだについては、ほかの医学分野と違い、あまり派手やかな研究はされていませんでした。ところが、つむじの位置や渦巻きの巻き方などを真面目に研究している小児科医がいたりするのです。そうした話題も少し紹介したいと思いました。

ヒトの赤ちゃんのからだは長い進化の過程を経て、このようなからだになったのです。そして、それには、それなりのわけがあったのです。

「へえ～」とか「ふむふむ」とか言いながら、「なるほど赤ちゃんのからだっておもしろい」と思っていただければ幸いです。

小西行郎
小西 薫



はじめに 2

プログラムされている 生きる力

赤ちゃんの誕生は神経板づくりから 12

胎児は6~7週から動いている 14

全身運動をする1センチの赤ちゃん 16

胎児の指しゃぶりでわかる利き手 18

胎児の時から自分のからだを触っている 20

おなかの中でも起きたり眠ったり 22

生まれる準備をしている赤ちゃん 24

ママ、そろそろ生まれるよ！

陣痛のボタンを押すのは赤ちゃん 26

赤ちゃんこんにちは！

空気のある世界への適応 28

生まれたばかりの赤ちゃん

こんなふうに見えています 30

生まれたばかりの赤ちゃん

こんなふうに聞こえています 32

生まれたばかりの赤ちゃん

味もにおいもわかっています 34

もらい泣きする赤ちゃん	36
赤ちゃんには「自分」がわかる？	38
赤ちゃんには「他人」がわかる？	40
赤ちゃんには「言葉」がわかる？	42
赤ちゃんには「算数」がわかる？	44
赤ちゃんには「物理」がわかる？	46
赤ちゃんのコミュニケーション力	48
赤ちゃんの記憶力	50



赤ちゃんはこうして動きはじめる	
自分で動きたいから動いている	54
意識して手を動かしている！	56
予測できる赤ちゃん	58
手を握る、広げる、伸ばす	60
じっと手を見る！	62
目と頭の動き	64
物の大小や遠近がわかる	66
赤ちゃんの選択力	68



寝返りの不思議	70
ピボットからずりバイへ	72
ずりバイ～よつバイ～たかバイ	74
人さし指を立てる赤ちゃん	76
重力の世界で見せる「立ち直り反射」	78
ひとり立ちしたい気持ち	80

赤ちゃんと毎日の生活

新生児は明るくても眠ります	84
眠り方もだんだんと育つもの	86
泣き方も育つもの	88
たそがれ泣き	90
赤ちゃんの涙	92
眠くなるとどうして泣くのか	94
眠っている間に育つホルモンが…	96
赤ちゃんは呼吸回数が多いもの	98
赤ちゃんと授乳	100
赤ちゃんのミルクの飲み方	102
母乳と人工乳	104

飲むことから食べることへ	106
赤ちゃんとよだれ	108
離乳食の準備	110
乳離れ	112
「身長・体重曲線」って？	114
身長と体重のつり合いは？	116
赤ちゃんのおしっこ	118
赤ちゃんのうんち	120
古くて新しい話題「オムツ」	122
日光浴はダメなの？	124
赤ちゃんの体温	126
赤ちゃんの汗	128
抱っこは人間だけのもの	130
抱っここのいま、むかし	132



ちょっと気になる赤ちゃんのようす

ミルクの飲みが少ない！	136
よくしゃっくりをする	138
風邪で熱が出るのはなぜ？	140

熱が出ても心配しすぎないで	142
咳をする	144
便秘している！	146
下痢している！	148
便に血が混じっている！	150
オムツかぶれ	152
異物を飲んでしまった！	154
痙攣を起こしたら！	156
呼んでも振り向かない	158
目が寄っている？	160
目が合わない	162
歯並びとおしゃぶり	164
指しゃぶりが多い	166
反り返って抱きにくい	168
赤ちゃんが首を振る	170
自然に出てくる耳垢	172
目が赤い、目やにが出る	174
赤ちゃんが吐いた！	176
よつバイしない赤ちゃん	178



つま先歩き 180

ちょっと気になるからだの話

ヒトの赤ちゃんにだけある「泉門」 184

つむじ 186

気になるおへそ 188

でべそ 190

へそのごま 192

赤ちゃんのお乳が腫れる？ 194

歯ぐきに白いかたまりが！ 196

背骨が曲がっている?! 198

首が曲がっている?! 200

耳が2つ？ 202

あざ 204

赤ちゃんの包茎 206

お尻にもう1つの穴？ 208

赤ちゃんの内股と外股 210

おわりに 212

PART
* * * *

1

プログラムされている 生きる力

お母さんのおなかの中にいる時から、
赤ちゃんの生きるための仕組みは働きはじめています。
誕生後の赤ちゃんは小さくて、
とてもかよわく見えるけれど、
生きていくための力をたっぷりと秘めているのです。

動き

P 16-17

睡眠

P 22-23

利き手の話

P 18-19

脳

P 12-13

P 14-15

ヒト認知

P 20-21

P 38-39

P 40-41

言葉

P 42-43

誕生

P 24-25

P 26-27

P 28-29

生まれながらにもつ能力

P 44-45

P 46-47

P 48-49

P 50-51

視覚・聴覚・味覚

P 30-31

P 32-33

P 34-35

泣きの話

P 36-37



赤ちゃんの誕生は神経板づくりから



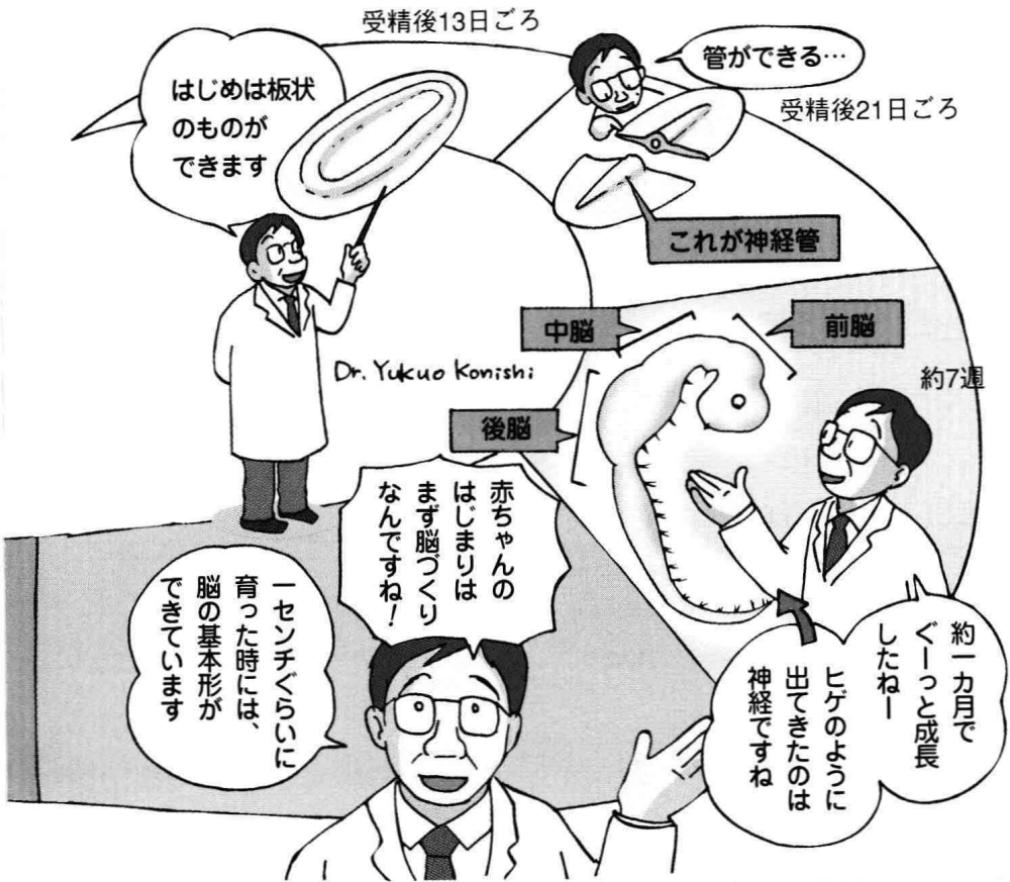
受精卵からスタートする赤ちゃんの命。受精卵が子宮内膜に着床してわずか数日で、早くも脳づくりがはじまります。たった4ミリほどの神経板と呼ばれる板状の神経組織ができあがり、この神経板が神経管という管になり、その一部が膨らんで、脳と脊髄の基になる組織が頭部に出現します。そして、7週ごろには「前脳」、「中脳」、「後脳」と3つの部分が見られるようになります。

7、8週ごろの、手足がついた1センチぐらいの赤ちゃんのからだには、すでに脳の3つの部分ができていることがあります。

約18週

約7週





胎児は6~7週から動いている



妊娠6~7週と言えば、やがて大脳や間脳となる前脳や、中脳、後脳が、神経管から変形しながらできあがるころ。

じつはそんなところから、赤ちゃんは動いているのです。

お母さんのおなかの中で羊水に浮かんでいる赤ちゃんは、水の抵抗のおかげである程度制御された動きができる、という説もあります。確かに抵抗がない場合にはむちゃくちゃに動いてしまい、赤ちゃんは疲れてしまいそうですね。

こうした動きは、まだ脳が未熟な状態の時に見られるものですから、必ずしも脳の指令で動いているとは言えません。逆に、赤ちゃんが動くことで精巧な脳づくりが実現できる、とも考えられています。

からだの形ができあがりつつあるころでも、すでに赤ちゃんは元気よく動きながら、自分の脳を育てる練習を開始しているのかもしれません。

6~7週の赤ちゃんは
カシューナッツより
ひとまわり小さいくらいの
大きさです

